

社団法人北海道作業療法士会定款

第1章 総 則

(名称)

第1条 この法人は、社団法人北海道作業療法士会と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、事務所を札幌市中央区南4条西10丁目1010番地1に置く。

(目的)

第3条 この法人は、北海道における作業療法の普及発展を図るため、会員が最新の作業療法の学問的成果及び先進技能を相互に研鑽修得し、併せて作業療法士全体の資質の向上に努め、もって地域医療の増進と道民の健康及び福祉に貢献することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 作業療法の専門的知識及び技能を通じて、北海道における医療及び福祉の増進に寄与する事業
- (2) 作業療法に関する最新の学問的成果及び先進技能を会員全体に普及させ、また奨励振興する事業
- (3) 作業療法士の教育機関の教育育成に協力し、もって作業療法士の資質向上に寄与する事業
- (4) 作業療法に関する会誌等刊行物の発行に関する事業
- (5) 作業療法の学会、研修会、講習会等の開催に関する事業
- (6) 作業療法の調査研究に関する事業
- (7) 内外の関連学術団体と連絡し協力する事業
- (8) 作業療法士の社会的地位の向上に関する事業
- (9) その他法人の目的を達成するために必要と認める事業

第2章 会 員

(会員の種別)

第5条 この法人の会員は、次の3種とし、正会員をもって民法上の社員とする。

- (1) 正会員 理学療法士及び作業療法士法(昭和40年法律第137号)第3条の規定による作業療法士の免許を有する者で、北海道に在住し、本会の目的に賛同して入会した者
- (2) 賛助会員 この法人の事業を賛助するために入会した個人又は団体
- (3) 名誉会員 この法人に功労があった者又は学識経験者で理事会の推薦に基づき、総会で承認されたもの

(入会)

第6条 正会員又は賛助会員として入会しようとする者は、理事会の議決を経て会長が別に定める入会申請書を会長に提出し、理事会の承認を得なければならない。

2 名誉会員に推薦された者は、入会の手続きを要せず、本人の承諾と総会の承認をもって会員とする。

(会費)

第7条 会員は、別に定めるところにより、会費を納入しなければならない。ただし、名誉会員は、会費を納めることを要しない。

(会員の資格喪失)

第8条 会員が次の各号のいずれかに該当するときは、その資格を喪失する。

- (1) 退会したとき。
- (2) 禁治産又は準禁治産の宣告を受けたとき。
- (3) 死亡し、若しくは失踪宣告を受け、又は会員である団体が消滅したとき。
- (4) 2年以上会費を滞納したとき。
- (5) 除名されたとき。

(退会)

第9条 正会員及び賛助会員は、別に定める退会届を会長に提出して、任意に退会することができる。

(除名)

第10条 会員が次の各号のいずれかに該当するときは、総会において3分の2以上の議決に基づき、除名することができる。この場合において、当該会員に対し、議決する前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) この法人の定款又は規則に違反したとき
 - (2) この法人の名誉を毀損し、又は目的に反する行為をしたとき
- 2 前項の規定により除名された会員には、その旨を通知しなければならない。

(抛出金品の不返還)

第11条 既納の会費及びその他の抛出金品は、これを返還しない。

第3章 役員等

(種類及び定数)

第12条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 2人
- (3) 理事 11人以上 13人以下(会長及び副会長を含む。)
- (4) 監事 2人

(選任等)

第13条 会長、副会長、その他の理事及び監事は、選挙において選出する。

- 2 理事及び監事は、相互に兼ねることができない。
- 3 理事に異動があったときは、2週間以内に登記し、登記簿謄本を添え、遅滞なくその旨を北海道知事に、届け出なければならない。
- 4 監事に異動があったときは、遅滞なくその旨を北海道知事に届け出なければならない。

(職務)

第14条 会長は、この法人を代表し、業務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ定めた順序により、その職務を代行する。
- 3 理事は、理事会を構成し、定款及び総会の議決に基づき、この法人の業務を執行する。
- 4 監事は、次に掲げる職務を行う。
 - (1) 会計を監査すること。
 - (2) 理事の業務執行状況を監査すること。
 - (3) 会計及び業務の執行について、不整の事実を発見したときには、これを総会又は北海道知事に報告すること。
 - (4) 前号の報告をするため必要があるときは、総会又は理事会の招集を請求し、又は招集すること。

(任期)

第15条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2 補欠又は増員により、選任された役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。
- 3 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(解任)

第16条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、総会において3分の2以上の議決に基づいて解任することができる。この場合において、当該役員に対し、議決する前に弁明の機会を与えなければならない。

- (1) 心身の故障のため職務の執行に堪えないと認められたとき。
- (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があると認められるとき。

(報酬等)

第17条 役員は、無給とする。ただし、常勤の役員は、有給とすることができる。

- 2 役員には、費用を弁償することができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、会長が別に定める。

(顧問)

第18条 本会に、3人以下の顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、理事会の推薦により、会長が委嘱する。
- 3 顧問は、本会の重要な事項について、会長の諮問に応じて意見を述べるものとする。
- 4 顧問の任期は、委嘱した会長の在任期間とする。

第4章 総 会

(種別)

第19条 この法人の総会は、定期総会及び臨時総会の2種とする。

(構成)

第20条 総会は、正会員をもって構成する。

(権能)

第21条 総会は、この定款で別に定めるもののほか、この法人の運営に関する重要な事項を議決する。

(開催)

第22条 定期総会は、毎年1回開催する。

- 2 臨時総会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。
 - (1) 理事会が必要と認め招集の請求をしたとき。
 - (2) 正会員の5分の1以上から会議の目的を記載した書面により、招集の請求があったとき。
 - (3) 第14条第4項第4号の規定により、監事から招集の請求があったとき。

(招集)

第23条 総会は、第14条第4項第4号の規定により監事が招集する場合を除き、会長が招集する。

- 2 会長は、前条の規定による請求があったときは、当該請求の日から30日以内に臨時総会を招集しなければならない。
- 3 総会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも5日前までに通知しなければならない。

(議長)

第24条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

(定足数)

第25条 総会は、正会員2分の1以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第26条 総会の議事は、この定款に別に定めるもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(書面表決等)

第27条 やむを得ない理由のため、総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。この場合において、前2条の規定の適用については、その正会員は出席したものとみなす。

(議事録)

第28条 総会の事項については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 正会員の現在員数
- (3) 出席した正会員数
- (4) 審議事項及び議決事項
- (5) 議事の経過の概要及びその結果
- (6) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名押印しなければならない。

第5章 理事会

(構成)

第29条 理事会は、理事をもって構成する。

(権能)

第30条 理事会は、この定款で別に定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会に付議すべき事項
- (2) 総会の議決した事項の執行に関する事項
- (3) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

(開催)

第31条 理事会は、次の各号のいずれかに該当する場合に開催する。

- (1) 会長が必要と認めたとき。
- (2) 理事現在数の3分の1以上から会議の目的を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
- (3) 第14条第4項第4号の規定により、監事から招集の請求があったとき。

(招集)

第32条 理事会は、第14条第4項第4号の規定により監事が招集する場合を除き、会長が招集する。

- 2 会長は、前条第2号又は第3号の規定による請求があったときは、当該請求の日から20日以内に理事会を招集しなければならない。
- 3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも10日前までに通知しなければならない。ただし、会長が緊急に理事会を開く必要があると認めた時は、この限りではない。

(議長)

第33条 理事会の議長は、会長がこれに当たる。

(定足数等)

第34条 第25条から第28条までの規定は、理事会について準用する。この場合においてこれらの規定中「総会」とあるのは「理事会」と、「正会員」とあるのは「理事」と読み替えるものとする。

第6章 財産及び会計

(財産の構成)

第35条 この法人の財産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 会費
- (2) 寄附金品
- (3) 財産から生ずる収入
- (4) 事業に伴う収入
- (5) その他の収入

(財産の管理)

第36条 この法人の財産は、会長が管理し、その方法は、総会の議決を経て会長が別に定める。

(経費の支弁)

第37条 この法人の経費は、財産をもって支弁する。

(事業計画及び予算)

第38条 この法人の事業計画及びこれに伴う予算に関する書類は、会長が作成し、毎会計年度開始前に、総会の議決を経て、北海道知事に届け出なければならない。これを変更しようとするときも同様とする。

(暫定予算)

第39条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、会長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。

2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第40条 この法人の事業報告及び決算は、毎会計年度終了後2か月以内に、会計が事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録等として作成し、監事の報告を受け、総会の議決を経て、その会計年度終了後3か月以内に北海道知事に報告しなければならない。この場合において、資産の総額に変更があったときは、2週間以内に登記し、登記簿謄本を添えるものとする。

(長期借入金)

第41条 この法人が資金の借入をしようとするときは、その会計年度の収入をもって償還する短期借入金を除き、総会において3分の2以上の議決を経て北海道知事に届け出なければならない。

(会計年度)

第42条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第7章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第43条 この定款は、総会において、出席構成員の4分の3以上の同意を経、かつ、北海道知事の認可を得なければ変更することができない。

(解散)

第44条 この法人は、民法第68条第1項第2号から第4号まで及び同条第2項の規定により解散する。

2 民法第68条第2項第1号の規定により解散するときは、正会員総数の4分の3以上の議決を得なければならない。

(残余財産の処分)

第45条 この法人が解散のときに有する残余財産は、総会において正会員総数の4分の3以上の議決を経、かつ、北海道知事の許可を得て、この法人と類似の目的を有する団体に寄付するものとする。

第8章 事務局

(設置等)

第46条 この法人の事務を処理するため、事務局を設置する。

2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。

3 事務局長及び職員は、会長が任免する。

4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、総会の議決を経て、会長が別に定める。

(備付け帳簿及び書類)

第47条 事務所には、常に次に掲げる帳簿及び書類を備えておかななければならない。

- (1) 定款
- (2) 会員名簿及び会員の異動に関する書類
- (3) 理事、監事及び職員の名簿及び履歴書
- (4) 許可、認可等及び登記に関する書類
- (5) 定款に定める機関の議事に関する書類
- (6) 収入及び支出に関する帳簿及び証拠書類
- (7) 資産、負債及び正味財産の状況を示す書類
- (8) その他必要な帳簿及び書類

第9章 雑 則

(委任)

第48条 この定款に定めるもののほか、この法人の運営に関し必要な事項は、総会の議決を経て、会長が別に定める。

附 則

- 1 この定款は、この法人の設立許可のあった日から施行する。
- 2 この法人の設立当初の役員は、第13条第1項の規定にかかわらず、設立総会の定めるところとし、その任期は、第15条第1項の規定にかかわらず、平成7年3月31日までとする。
- 3 この法人の設立初年度の事業計画及び予算は、第38条の規定にかかわらず設立総会の定めるところによる。
- 4 この法人の設立初年度の会計年度は、第42条の規定にかかわらず、設立許可のあった日から平成6年3月31日までとする。
- 5 平成15年11月8日一部改正し、平成16年4月1日より施行する。